

中学校国語

A問題での平均正答率は75.9%であり、具体的な言語活動の中での語句等の定着や目的の達成をめざして話し合う力に課題がある。
B問題での平均正答率は46.3%であり、本や文章を読んで考えたことを、根拠を明確にして具体的に書くことに課題がある。

分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

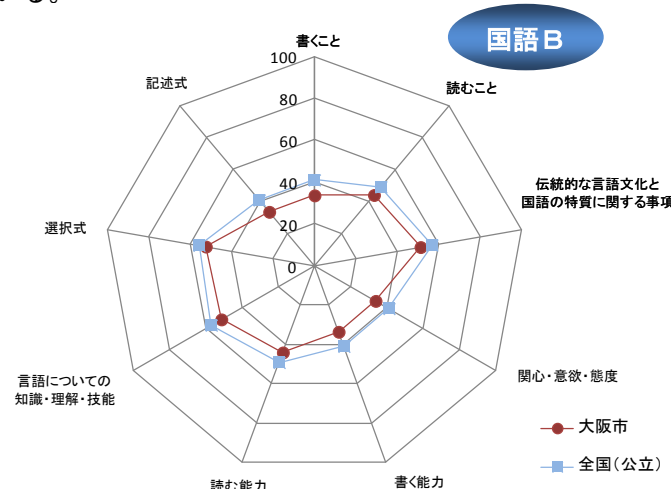
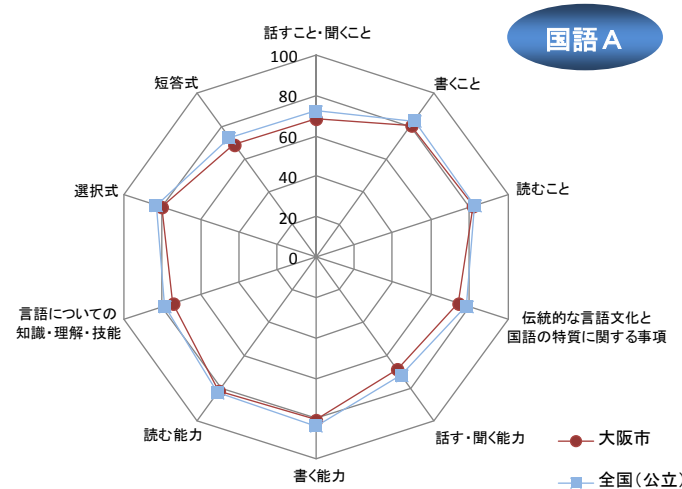
分類	区分	A問題(全32問)			B問題(全9問)		
		対象 設問数 H26	平均正答率(%)		対象 設問数 H26	平均正答率(%)	
			H26 大阪市	H26 全国		H26 大阪市	H26 全国
学習指導要領の 領域	話すこと・聞くこと	4	68.5	72.3	0	—	—
	書くこと	6	80.6	83.4	3	33.6	41.0
	読むこと	5	81.8	82.9	8	44.1	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	74.3	78.7	4	51.3	56.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	3	33.6	41.0
	話す・聞く能力	4	68.5	72.3	0	—	—
	書く能力	6	80.6	83.4	3	33.6	41.0
	読む能力	5	81.8	82.9	8	44.1	49.2
	言語についての知識・理解・技能	17	74.3	78.7	4	51.3	56.8
問題形式	選択式	20	80.3	83.2	6	52.6	55.9
	短答式	12	68.7	73.1	0	—	—
	記述式	0	—	—	3	33.6	41.0

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」「短答式」の項目で低い値を示している。

■ B問題では、「書くこと」「関心・意欲・態度」「書く能力」「記述式」の項目で低い値を示している。



具体的な成果と課題

- 【国語A】 ◇ 「心情が相手に効果的に伝わるように描写を工夫して書き加えること」「登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること」は相当数の生徒ができている。
◆ 「目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること」に課題がある。
◆ 「文脈に即して漢字を正しく書くこと」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと」については、一部に課題がある。
- 【国語B】 ◆ 「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くこと」「複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること」等に課題がある。

中学校数学

A問題での平均正答率は62.5%であり、関数の意味を理解することや、グラフと表を関連付けて、2つの数量関係を理解することに課題がある。
B問題での平均正答率は55.2%であり、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

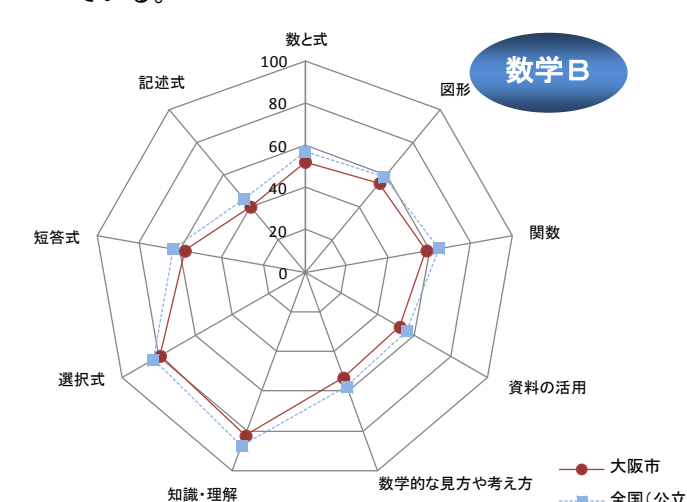
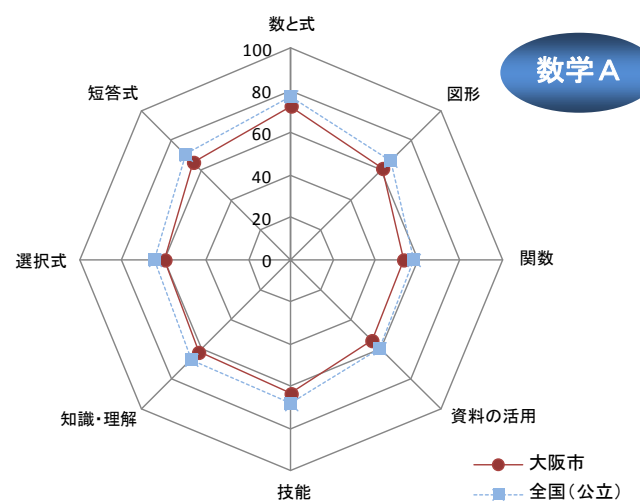
分類	区分	A問題(全36問)			B問題(全15問)		
		対象 設問数 H26	平均正答率(%)		対象 設問数 H26	平均正答率(%)	
			H26 大阪市	H26 全国		H26 大阪市	H26 全国
学習指導要領の 領域	数と式	12	72.8	77.4	3	52.1	56.9
	図形	12	61.2	66.4	5	55.0	58.6
	関数	8	53.2	58.0	5	58.5	64.4
	資料の活用	4	54.0	59.1	2	51.9	55.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—	—	0	—	—
	数学的な見方や考え方	0	—	—	14	53.2	57.9
	数学的な技能	15	63.3	68.2	0	—	—
	数量や図形などについての知識・理解	21	61.9	66.8	1	82.4	87.5
問題形式	選択式	18	59.7	64.4	3	79.4	83.2
	短答式	18	65.3	70.4	6	57.9	63.3
	記述式	0	—	—	6	40.3	44.8

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「関数」「資料の活用」の項目で低い値を示している。

■ B問題では、「数と式」「資料の活用」「数学的な見方や考え方」「記述式」の項目で低い値を示している。



具体的な成果と課題

- 【数学A】 ◆ 「図形の回転移動の前後における角の対応を読み取ること」「関数の意味を理解すること」「度数分布表から相対度数を求めること」等に課題がある。
- 【数学B】 ◆ 「証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄を基に、発展的に考えること」「不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」「グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明すること」等に課題がある。